

## 資料1：「内灘町の財政」資料

長谷川 政人（法学部4年生）

内灘町の財政

金沢大学4年  
長谷川 まさと

発表すること

- 厳しい財政状況にある内灘町  
いま必要なことは、過去にさかのぼって財政を分析  
現在の状況に至るまでの財政情報を提供すること
- 実際に、過去にさかのぼって町の財政を分析  
単年度の分析だけでは分からぬ結果がみえる  
住民の理解を深め、行政の施策を受けとめる

内灘町の財政に必要なこと

■ 2007年4月 財政非常事態宣言  
→ 行財政改革プランの作成、水道料金の見直し

内灘町行財政改革実施計画  
令和18年10月  
集中改革プラン  
令和18年度へ平成29年度



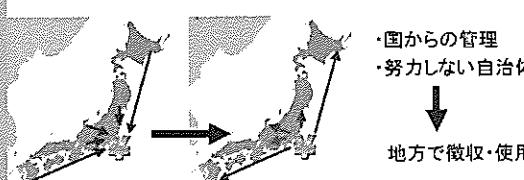
■ 2007年4月 財政非常事態宣言  
→ 行財政改革プランの作成、水道料金の見直し

下水道料金表（消費税込）

基本料金（1ヶ月単位）		超過料金（1㎥単位）	
基本水量	並額	水量	料金
一般 家庭方水	10㎥	10㎥を越え 50㎥まで	120円
		50㎥を越え 100㎥まで	130円
		100㎥を 超える分	140円

■ 2007年4月 財政非常事態宣言  
→ 行財政改革プランの作成、水道料金の見直し

■ 内灘町の財政を健全にしなければならない  
→ 行政：三位一体の改革により、財政が悪化



- ・国からの管理
- ・努力しない自治体
- ↓
- 地方で徴収・使用

■2007年4月 財政非常事態宣言  
→行政改革プランの作成、水道料金の見直し

■内灘町の財政を健全にしなければならない  
→行政:三位一体の改革により、財政が悪化  
住民負担のために、まず行政内部で削減  
+  
財政の情報を提供  
・広報における財政の特集  
・役場ホームページで財政情報を公開  
・行財政に関するタウンミーティング

平成20年度内灘町予算概要  
もっと知りたい今年の仕事  
「町長が元気で勝りを待てる  
魅力ある内灘町の創造」に向けて

A1 Q1  
シリーズ「内灘町財政改革  
まつたなし」

平成20年4月  
石川県・河北郡・内灘町

・広報における財政の特集  
・役場ホームページで財政情報を公開

■内灘町の財政を健全にしなければならない  
→行政:三位一体の改革により、財政が悪化  
住民負担のために、まず行政内部で削減  
+  
財政の情報を提供

ホームページ 広報: 単年度の情報しかない  
→なぜ今の状態になったのか

→住民:財政といっても、わかりづらい  
納得できないまま、さらなる負担を求められる

内灘町の財政に必要なこと  
■過去にさかのぼって財政を分析  
現在の状況に至るまでの財政情報を作成  
+  
■行政が、住民目線で分かりやすさを加えて  
財政情報を発信することが必要

↓

住民が財政への理解を深め、行政の施策を受けとめる

平成19年度タウンミーティング一覧

第01回	鶴ヶ丘5丁目	第11回	白鳥台
第02回	鶴ヶ丘	第12回	白帆台
第03回	湖西	第13回	ハマナス
第04回	アカシア	第14回	旭ヶ丘
第05回	鶴ヶ丘4丁目	第15回	山岸崎
第06回	大根布	第16回	千鳥台
第07回	大津台	第17回	労働者協議会
第08回	大学2丁目	第18回	鶴ヶ丘東
第09回	空	第19回	宮坂
第10回	西荒屋		

・行財政に関するタウンミーティング

■内灘町の財政を健全にしなければならない  
→行政:三位一体の改革により、財政が悪化  
住民負担のために、まず行政内部で削減  
+  
財政の情報を提供

→住民:財政といっても、わかりづらい  
これから、さらなる負担を求められる

実際に、過去にさかのぼって町の財政を分析

町の財布は何個?  
一般会計  
ふつうの会計  
その他会計  
土地区画整理事業特別会計  
新エネルギー事業特別会計  
公共下水道特別会計  
水道事業特別会計  
介護保険特別会計  
老人健康保健特別会計  
国民健康保険特別会計

■平成19年度タウンミーティング■  
第03回 Q. このような赤字になった原因はなにか。  
第14回 Q. このように財政が厳しくなってきた原因を教えてほしい。  
第02回 O. 内灘町自身の体制に問題はなかったのか。  
第03回 O. 公共事業にかなり投資したのではないか。  
第01回 O. ホームページに載っています、広報に載っています。  
というが、読んだだけでは分からず

↓

→住民:財政といっても、わかりづらい  
これから、さらなる負担を求められる

■内灘町の財政を健全にしなければならない  
→行政:三位一体の改革により、財政が悪化  
住民負担のために、まず行政内部で削減  
+  
財政の情報を提供

↓

→住民:財政といっても、わかりづらい  
これから、さらなる負担を求められる

町の財布は何個?  
一部だけ負担している会計  
・河北郡広域事務組合  
・河北都市市街施設組合  
町がお金を出した団体の会計  
・内灘体育振興事業団  
・内灘町土地開発公社  
・内灘町公共施設等管理公社

町の借金はいくら?  
図1 地方債の推移  
●地方債発行高 ●公債費 ●地方債現在高

● 地方債発行高: 借金を作った額  
● 公債費: 借金を返済した額  
● 地方債現在高: 「ふつうの会計」における借金の合計

## 資料2：日程・プログラム等

### 日 程

開催地域	内灘町
日 時	平成20年12月20日（土）15:00～17:30（2時間30分）
会 場	内灘町役場町民ホール（河北郡内灘町字大学1丁目2番地1）
主 催	金沢大学、内灘町、内灘町教育委員会
大学側出席者	櫻井理事、関教授、中西教授、中村教授、岡澤教授、木村教授、早川教授、浅野教授、宇野コーディネーター、平子特任助教、荒牧総務課副課長、長谷川政人（法学部4年生）
町側出席者	八十出町長、蓑副町長、西尾教育長、高木総務部長兼まちづくり政策部長、荒家町民福祉部長、橋本都市整備部長、八田消防長、田中総務課長、山田企画財政課長、出川生涯学習課長

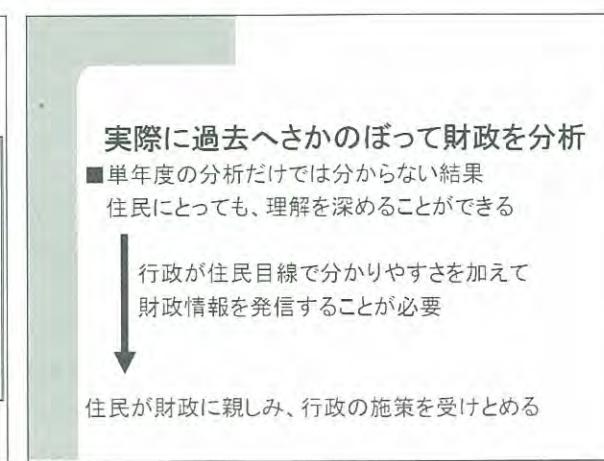
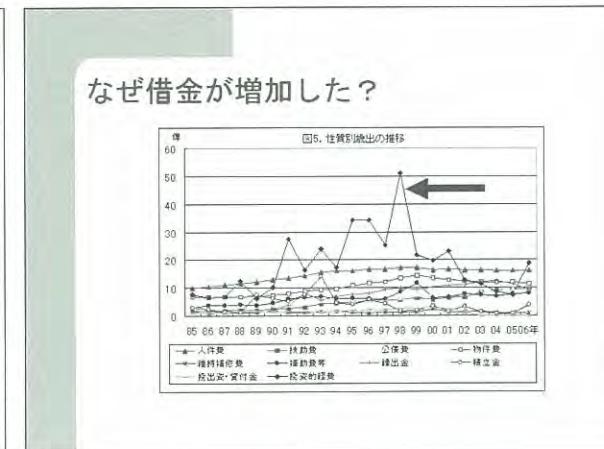
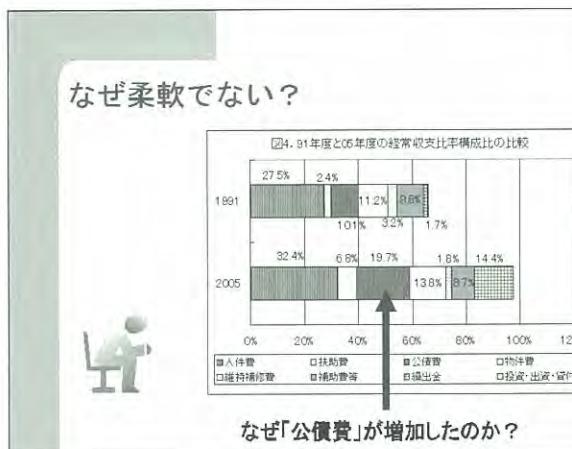
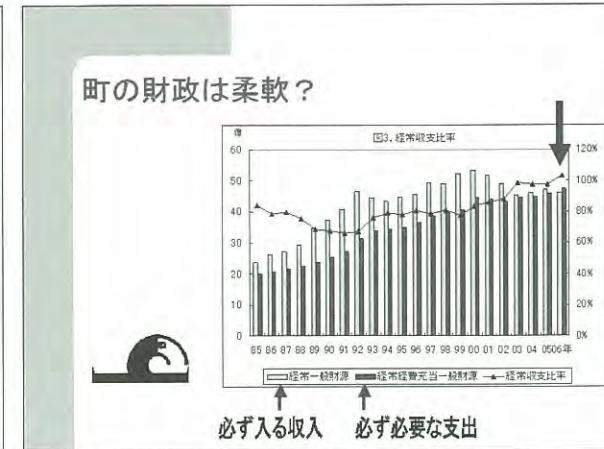
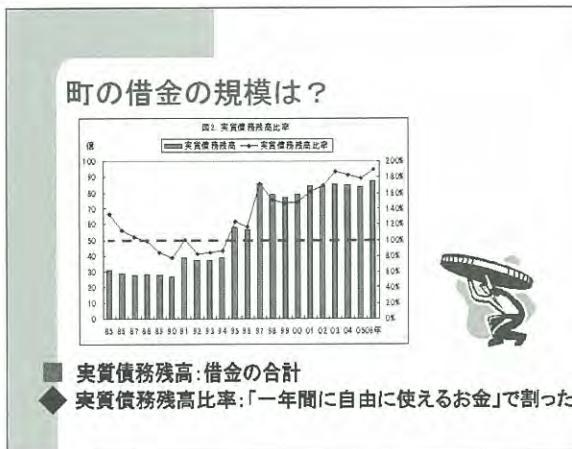
### プログラム

テーマ：「～内灘町と金沢大学の連携に向けて～ 地域の支えあい、協働によるまちづくり」

プログラム (13:00～17:30)		
15:00～15:05	挨拶	櫻井 勝（理事・副学長）
15:05～15:10	挨拶	八十出 泰成（内灘町長）
15:10～15:25	話題提供（大学から）	関 平和（理工研究域教授）
15:25～15:35	話題提供（地域から）	蓑口 潔（L L C 地域創造研究所副代表）
15:35～15:45	話題提供（地域から）	熊澤 栄二（石川工業高等専門学校准教授）
15:45～15:55	話題提供（地域から）	安宅 弥吉（内灘町町会区長会長）
15:55～16:05	話題提供（地域から）	野村 輝久（クリーンビーチ内灘作戦会長）
16:05～16:15	話題提供（地域から）	石田 政久（アマネコーポレーションエグゼクティブプロデューサー）
16:15～16:25	話題提供（大学から）	長谷川 政人（法学部4年生）
16:25～16:35	（休憩）	
16:35～17:25	意見交換会	コーディネーター： 浅野 秀重（金沢大学） 古賀 充（内灘町）
17:25～17:30	挨拶	中西 孝（地域連携推進センター長）

### 出席者

130名



本研究にご協力くださった方々へ御礼申し上げます。

## 資料3：アンケート結果

### 【タウンミーティングの内容、運営などについて】

- ・もう少し具体的な内容があれば良いと思った。時間が足りなかつた。
- ・毎年やってほしい。
- ・金沢大学から見た内灘町という捉え方が面白い。短い時間の中でこれだけのことができたことはすばらしい。町の今後の在り方を考えるよい機会となつた。
- ・知をいただける予感がした。
- ・プロジェクトの活用が良かった。
- ・「内灘海岸に人を集め」内灘砂丘を大切に何かイベント活用する考えはとても良かった。
- ・興味のあるテーマで分かりやすく、意義のあるミーティングでした。運営も時間配分を考え、進行もよかつた。
- ・話題提供が多かつたように思う。
- ・方向に対する年計画は？
- ・資源を有効に利用する取り組みなど関心のある内容だったので理解しやすかつた。
- ・河北農業の創造で地産地消を目的とした有機農法、無農薬、遺伝子組換えを使用しない野菜作りの内容は今後の内灘ブランドに期待したい。
- ・難しい内容でも噛み砕いて説明してくれたので、分かりやすかつた。
- ・石田さんの話が現在の仕事に身近な問題・解決だったので一番関心を持てた。
- ・6人の発表から、内灘町の可能性を新たに発見することができた。きっかけ作りとして金大がきてくれたのはよかつた。ただ、今回だけではまだまだ身近な存在になったとはいえないでの、これからも継続してほしい。長谷川さんの研究成果が聞けなかつたのは本当に残念だ。職員研修等で成果を発表してほしい。
- ・石田さんの話が今後の地域活動においても当てはまることが多く、大変参考になつた。何をするにも私はまず人が一番大切だと思い、日頃から活動している。これからもたくさんの住民の方に少しでも興味を持つてもらうよう頑張りたい。
- ・長谷川さんの内容を聞いたかった。何か話しをできる機会を持ちたい。
- ・学生の目からみた「内灘町の財政」をぜひ聞いてみたかった。
- ・大学から内灘町にこんな事が協働できるのではないかという事柄は？これからも続けてほしい。
- ・もっと多くの方々に集まつてもらい、地域の活性化に資していってもらえばありがたい。河北潟の浄化等についてふれたものが不足している。砂とアカシア並木等自然保護活動をもっと掘り下げてほしかつた。
- ・もっともっと身近に感じれる運営だとよかつた。
- ・初めて参加しましたが、有意義な話でした。子孫のために内灘町をいい形でバトンタッチできるよう、郷土の事を思い、われわれにできることは何か、シニア世代のパワーを發揮することで、生きがいを見つけられるのではと思いました。いつかは文化会館での開催を。
- ・もう少し早くから町民に向けて案内をした方がよかつたのでは。今日の話題提供にもあった「なぜするのか」というメッセージがあまり伝わらなかつたように感じた。長谷川さんの発表を聞くことができなかつたのが残念。

- ・今回は多くの話題提供があり、新たな視点で町を見つめていくきっかけとなつた。更に、大学と自治体相互の連携も今後の課題として大学・町民・町職員が一体となって考える契機となつたと思う。
- ・半年か1年位前からのPRを。話題がいさかチマチマしている感じのものが多い。半分位に絞って議論しあえるように。定期的（1回/2～3年）に開催を。
- ・オールラウンドの話より、テーマを絞って具体的な例を題材にして話してもらいたい。
- ・「里山プロジェクト」などの貴重な実践例をプレゼンしてみれば、「わが町に置き換える」などの発想が出てればもっと大学にも町にも得るものがあるのでは。
- ・テーマはどれも興味深くもっと詳しく聞いてみたいと思った。初めて聞いた活動もあり、良い機会になつた。せつかくなので、学生さんのプレゼンを聞きたかったので、プログラムとして一番最初にしてほしい。その方が学生さんもプレゼンしやすいのでは。
- ・公共の領域の地域共同に対しての実施方法が必要。
- ・初回のタウンミーティングでまだ、具体的な提案の意見交換がないと思った。内灘の資源？（海と潟への依存した）話ばかりだと思った。ベッドタウンとしての発展を考えてもいいのでは。
- ・話題提供が長すぎた。意見交換の時間をもう少しとれたら良かった。古賀主事のまとめを聞きたかった。
- ・改めて河北潟と内灘砂丘が内灘町の重要な地域資源であることを再認識できて大変良かった。
- ・話題提供に時間をとりすぎ。逆に大学側で考えていることを提供いただいた方がよかつた。
- ・以前より「金の取れるもの・場所を作るべき」と考えていたので、石田氏の集客というイベントの話には同調もし、そうあるべきと思った。同じく河北潟についても考えるべきではないか。マイクのエコーがかかって聴きにくい。
- ・公民館代表の方にも話題提供の人を出せたらもっときめ細かな問題が出たのではないか。

### 【金沢大学への意見、提案など】

- ・内灘町の海側の地区の地波を昔調べた時に、とても良いと聞いた。もう一度調べることができらデータを広報し定住につながれば良いと思う。
- ・このタウンミーティングをスタートとして単に意見発表だけで終わらず、その後の取り組み状況も追跡してシリーズで実施することができると面白いと思う。大学が核となった仕組みをぜひとも作ってほしい。
- ・河北潟をきれいに。昔のような河北潟にしてほしい。
- ・大学と自治体との「地域づくり連携協定」に興味を感じる。住民、行政に加え専門知識がプラスされると大変良いと思う。
- ・人を集める町作り、町のブランド作りについて深く研究・開発してほしい。ソフトからハードへは？
- ・文学の町、教育の城下町金沢が有機野菜、無農薬、遺伝子組換えをしない野菜作り同様に安心・安全・健康的な町、伝統を守りながらも今後のまちづくりに大いに貢献してくれることを願っている。
- ・今後とも連携を強めてほしい。
- ・パンフレットを見ると色々なサークルが紹介されているが、公民館単位であってもお願いしたら来てもらえるのか教えてほしい。
- ・地域づくりについて協定を締結していくべきだと思います。

- ・大学と町との連携についてのイメージがまだわいてこない。今後ともご支援をお願いしたい。
- ・「内灘町の財政」（長谷川さん予定のもの）について聴きたかった。企業誘致は困難なのか？（触れてほしい部分でもあった）立地条件は悪くないと思うが。
- ・冊子を拝見して色々なサークルがある事を知りました。ボランティアや低価格で各種事業時にパフォーマンスをしていただけだと嬉しいです。
- ・あぐりライフプロジェクトや池消地産は非常に興味があるテーマです。更に具体的な形で進められたらと思う。定年後に農的生活を送りたいという希望がある。「内灘町の財政」は図書館で借りれますか？ぜひ読んでみたい。今後も、地域連携を図っていただければと思う。
- ・学校教育の面でも何かできないか？・学力向上・いじめ不登校等の諸問題・部活動等
- ・石川高専のように(水質浄化)具体的な取り組みを内灘の地で行う検討がほしい。金大、石川高専、内灘小中学校との連携を図ってはどうか。
- ・国立大学から私立大学なみに法人化された組織に変わったことで、三点の目標のひとつである「地域とともに」を具体化する活動の一環でしょう。地域にとって大変心強いことです。もっと地域の中に入って何が欠けているのか、何を突破口にすべきかを教示していただきたい。地域には正直いつてコアパーソンが少ないようだ。各々に意見は持っていても、どのように集約して、行動に結びつけるのかを知らない。賛同できるアクションがスタートすれば、進んでボランティア参加をしたい気持ちを持っている。
- ・このような機会に地域連携推進センターの公開講座をもっとPRしたらいいと思う。
- ・地域に根ざした大学として、ぜひ地域と連携した研究をたくさんしてほしい。金沢という特性（内灘であれば海岸、砂丘、雷、海浜、植物など）を生かしたテーマを取り上げてほしい。
- ・職員・学生の協働意識の醸成に対し、work shop がさらに必要。ボランティア活動、清掃活動は学生も非常に勉強になり、一緒に行なうことが非常に大切。
- ・課題が山積みしています。ぜひ連携事業について相談したいと思います。これまで多くのことについて協力をいただいております。ありがとうございます。
- ・富山県でもタウンミーティングをしてほしい。
- ・北陸鉄道浅野川線は金沢・内灘を結ぶ公共交通機関であり、今後、存続問題等もあると思う。住民として大変重要な提起、取り組みだと思う。
- ・内灘について興味を持っての研究を今後も続けてほしい。
- ・海岸のごみについて、どうすれば減るのか研究してほしい（ごみを出させない方法）
- ・内灘の風・波などを利用する方法はないか。公開講座を「もっと受けたくなる」ようにしてほしい。
- ・色々と角間の里にお世話になっています。ごみ、水質浄化、河北美觀などは循環型取組みで、今後は食育、子育てとなるでしょう。今後の協力、助言をお願いします。
- ・どんどん積極的に連携を行いたい。